



三戸町の11ぴきのねこ

「11ぴきのねこ」の作者・馬場のぼるさんのふるさと、三戸町。町の商店街を歩けば、ベンチに座ったり、通りを見守ったりする「11ぴきのねこ」の石像たちに出会えます。さらに、アップルドーム2階の「ほのぼの館」では、馬場のぼるさんの作品や「11ぴきのねこ」にまつわる展示を楽しむことができます。三戸町を訪れたら、町を歩きながら、ぜひ11ぴきのねこを探してみませんか。



ほのぼの館

所在地：三戸町大字川守田字元木平8-1（アップルドーム2階）
開館時間：9:00～17:00 休館日：年末年始
問合せ：アップルドーム ☎0179-20-1500



story 表紙のはなし

三戸城跡 城山公園 （さんのへじょうあと しroyまこうえん）



秋が深まる頃、国史跡・三戸城跡の城山公園は、赤や橙、黄金色に染まった木々に包まれ、一年で最も鮮やかな表情を見せます。昼は紅葉の中を歩きながら、南部氏の本拠として栄えた城跡の歴史と眺望を楽しむひととき。そして夕暮れからは、城山が幻想的な世界へと姿を変えます。ライトに照らされた紅葉が漆黒の夜空に浮かび、その向こうには城郭を思わせる建物が黄金色の光をまといて現れます。紅葉を楽しんだ後は、ぜひ麓のまちなかへ。歴史ある商店街を歩き、三戸ならではの味や人との出会いを楽しむのもおすすめです。歴史と紅葉、そして光が出会う秋の三戸城跡へ。昼から夜まで、ゆっくりと三戸の秋をお楽しみください。

城山公園 秋のライトアップは10月中旬ごろから2週間程度を予定しております

murmur つぶやき

昨今のAI技術の進歩は目覚ましいものがあります。単なるデータ分析の枠を超え、人間と同等以上の知的な処理能力や高い創造性を発揮する段階へと急速に進化しています。

私自身、日常のちょっとした調べ物や、時には考え事に、AIを利用する機会があるが、ちょっと前までのAIとは比べ物にならないくらい的確な答えが返ってくるようになりました。もちろん、現状すべてに整合性が取れているわけではないが、これも時間の問題かもしれません。

次期学習指導要領改訂案に初めてAIの活用が明記されました。急速に成長を続けるAI時代を見据え、小中学校から情報活用能力の抜本的向上が求められています。確かに、AIは上手に使えると非常に便利で、膨大な情報の中から答え（決断）の提案までしてくれます。同じ事をするにも、格段のスピード向上が計られました。

しかしである、インターネットもなかった時代、一つの事を調べるだけでも、大変でした。多くの媒体の中から自己でその入口にたどり着き情報を得て、集めた情報を基に悩み考え、答え（決断）を出していました。この過程を経てきた者は、AIを利用したとしても、100%信頼はしていないのではないのでしょうか。限定的な利用だとしても学習成長期の子どものAIの活用は、この思考を育む機会を奪ってしまわないかと、危惧してしまいます。

そして今このAIの進化は自己改善を繰り返し、人間の知能を越えようとしています。AI開発者の中には、数年の内に、人間を脅かす存在になると警鐘を鳴らしています。SFのような未来が来ない事と、真に子どもたちにとって、最善の学習環境が担保される事を願うばかりです。

株式会社ツルコ 代表取締役 苫米地 俊彦



HACHINOHE HOUJINKAI NEWS

【発行】公益社団法人八戸法人会 〒031-0076 八戸市堀端町2-3（八戸商工会館内）
TEL:0178-45-0107 FAX:0178-45-2419 【編集】八戸法人会広報委員会 【編集担当】苫米地 俊彦
【発行日】令和8年10月26日 【HP】<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/hachinohe/>

法人会会員の皆様は、自主点検チェックシートを活用した場合には「法人事業概況説明書」表面8(5)社内監査の欄に（法人会 自主点検チェックシート）と、また裏面17加入組合等の状況の欄には、（八戸法人会会員）と記入しましょう。

はちのへ法人会ニュース

やっほー 171

2026.10.26 発行

新税務署長に聞く 小野昌俊 八戸税務署 署長

理事会 令和8年度中間会務報告

経営者物語

挑戦を重ねた20年 たどり着いた「残したいもの」
有限会社 割烹白山 専務取締役 本庄 孝浩さん